

平成19年度

**岩手県内における介護老人保健施設の
入退所状況等に関するアンケート調査報告書**

【概要版】

平成20年1月

**特定非営利活動法人
いわての保健福祉支援研究会**

1 調査の目的

本県における介護老人保健施設は、各事業者の努力により順調に整備されその重要な位置づけにあるが、介護保険制度も8年目を迎えその環境は大きく変化していることから、県内の介護老人保健施設の実情について調査し、今後、行政等関係機関・団体が取り組む介護保険に係る諸施策の推進の基礎資料として活用されることを目的とする。

2 調査方法

区 分	内 容
(1)調査対象施設数	岩手県内の介護老人保健施設 58施設
(2)回収率	回収数44施設(回収率 75.9%)
(3)調 査 方 法	調査票を郵送し回収
(4)調 査 時 期	平成 19 年 7 月 24 日～ 8 月 24 日
(5)調査協力	岩手県介護老人保健施設協会

3 調査結果の概要

(1) 県内の介護老人保健施設

本県の介護老人保健施設の総定員数は、5,272人で、特別養護老人ホームの定員数5,998人(98施設 平成18年10月1日現在)と比較して600人ほど少ないが本県の介護保険関連施設の中で重要な位置づけにある。

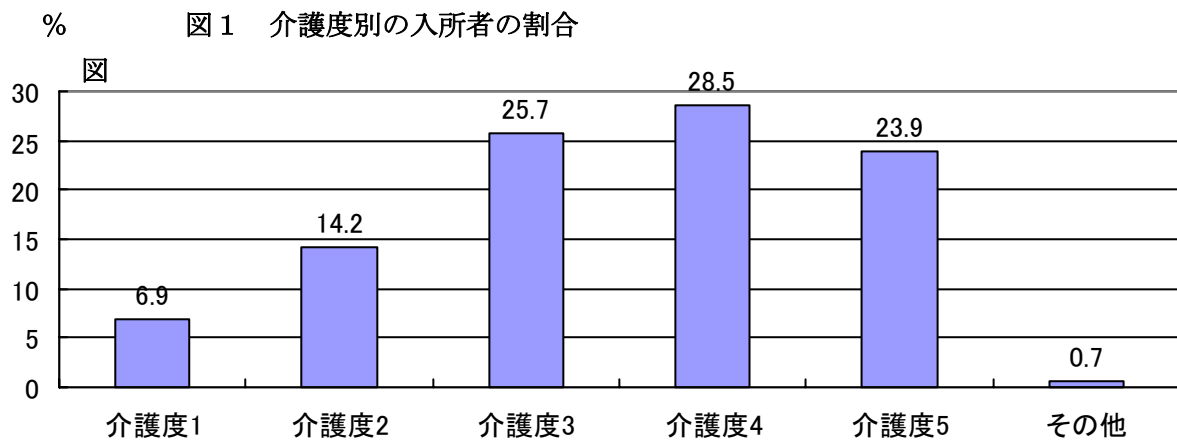
表1 調査対象施設と回答施設

	施設数	定員数	1施設あたり平均定員数
調査対象施設 (A)	58	5,272 人	90.9 人
回 答 施 設 (B)	44	3,998 人	90.9 人
(B) / (A)	75.9%	75.8%	

(2) 平成19年7月1日現在における介護老人保健施設に入所者の状況

ア 介護度別の入所者状況

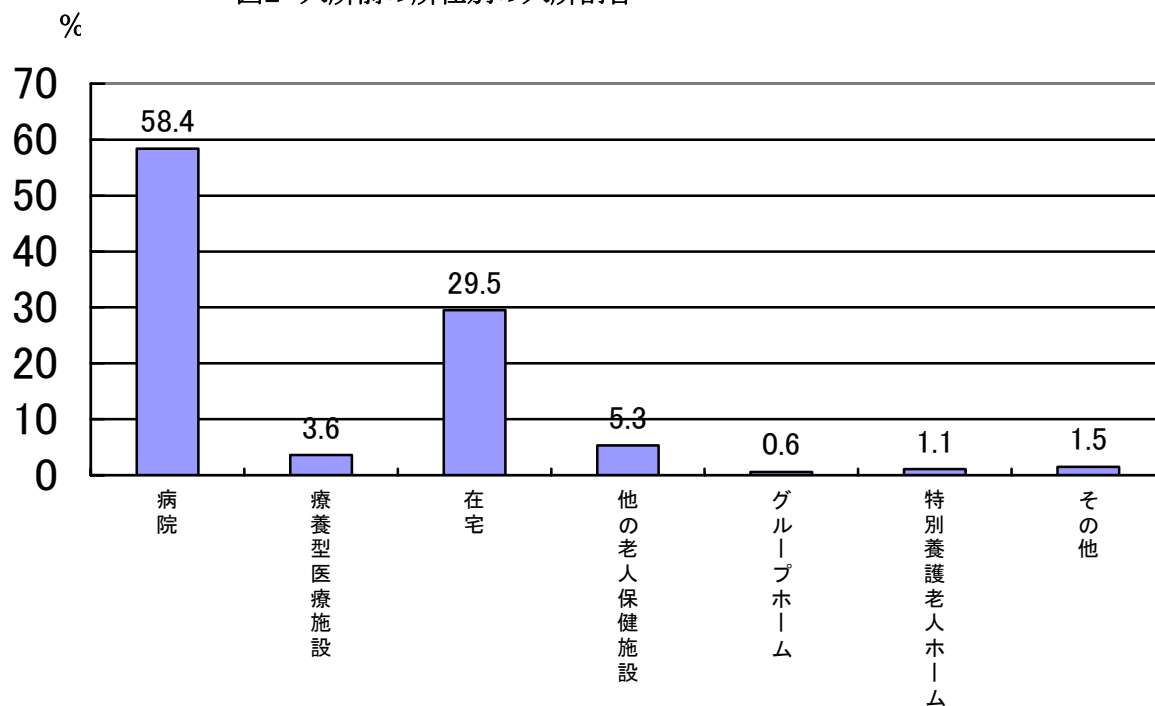
入所者数は、3,629人で、「介護度4」が 28.5%で最も多い。なお、平均介護度は、3.5となっている。



イ 介護老人保健施設に入所する前の所在の状況

入所する前の所在は、「病院」が 58.4%、「在宅」が 29.5%となっている。

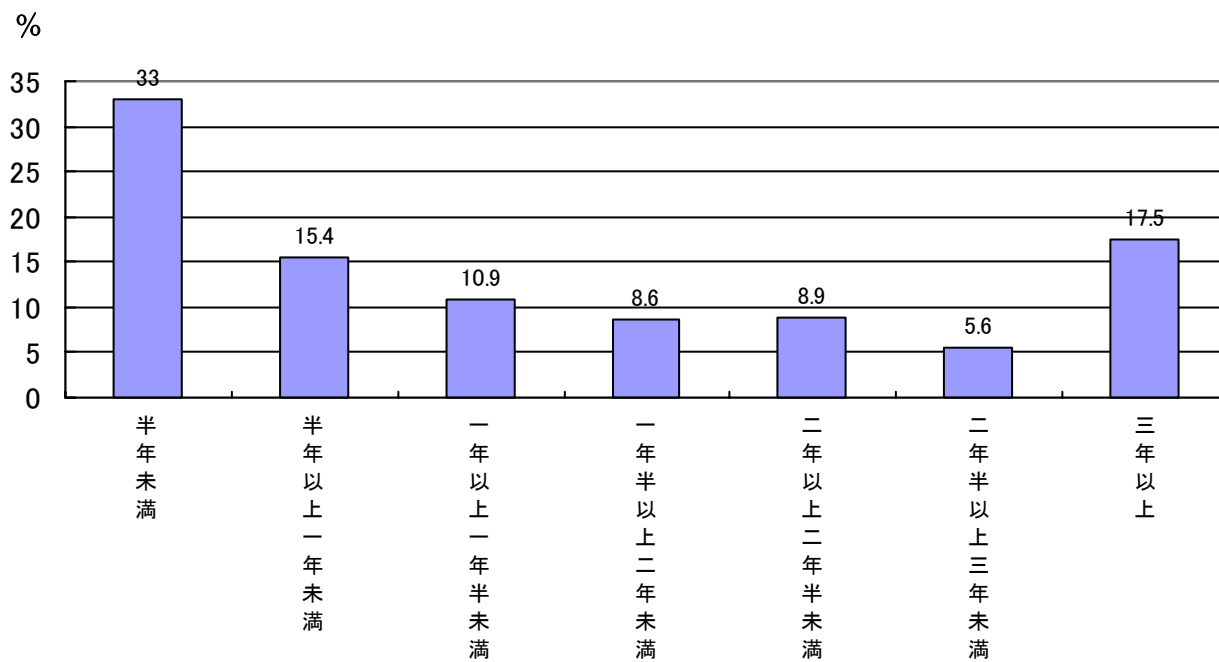
図2 入所前の所在別の入所割合



ウ 入所者の入所期間の状況

入居期間が、「半年未満」の入所者は 33%程度。全体的には、1年以上の入所者が 51.6%と半数以上占め、特に、2年以上の入所者が 32.0%と3分の1程占め入所の長期化傾向にある。

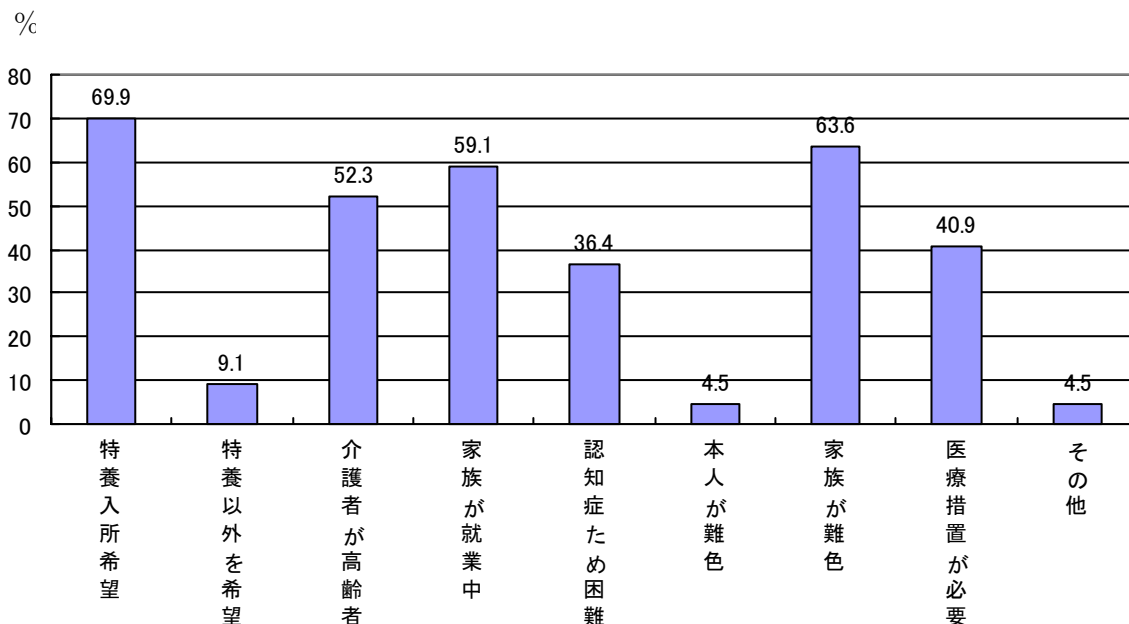
図3 入所期間別の入所者の割合



エ 入所期間の長期化の傾向の要因

長期化傾向の要因は、「特養への入所を待っているため」、「家族が在宅復帰を断っているため又は難色を示しているため」、「家族が就業しており介護する人がいないため」、「介護者が高齢者で介護力がないため」等となっている。

図4 施設側から見た入所日数の長期化傾向の要因(※ 複数回答)

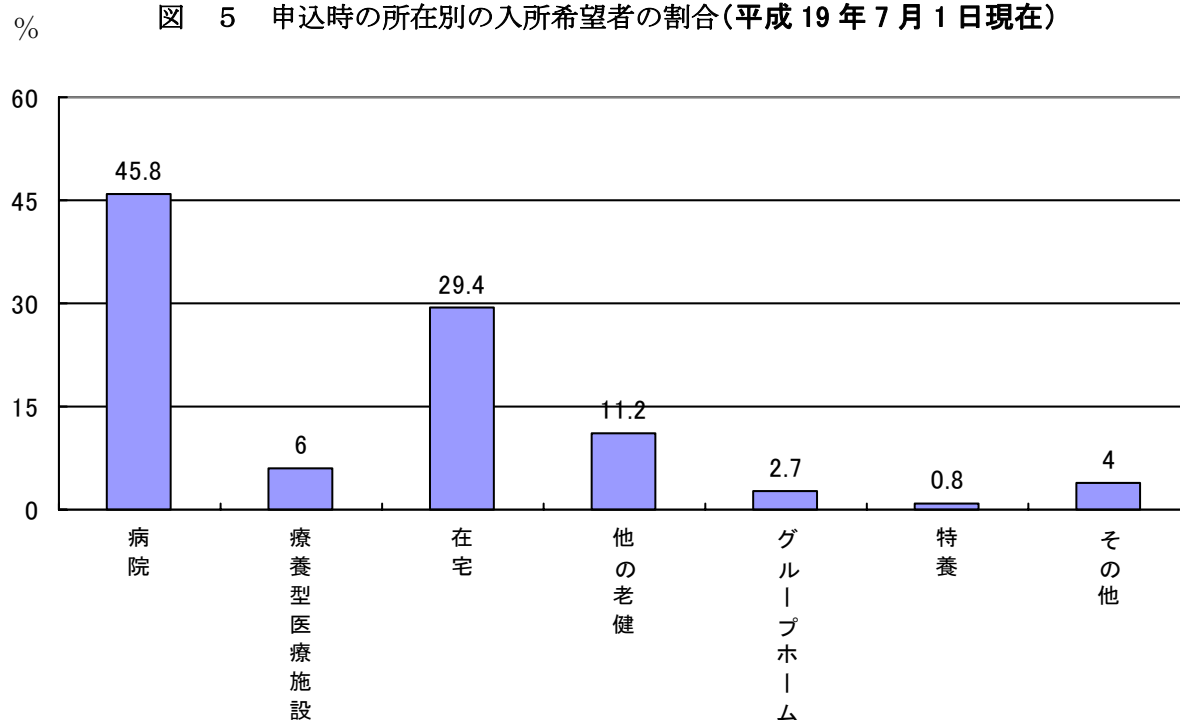


(3) 介護老人保健施設への入所希望者の申込の状況

ア 入所申込時の入所希望者の所在

平成 19 年 7 月 1 日現在の介護老人保健施設への入所希望者は 2,086 人である。

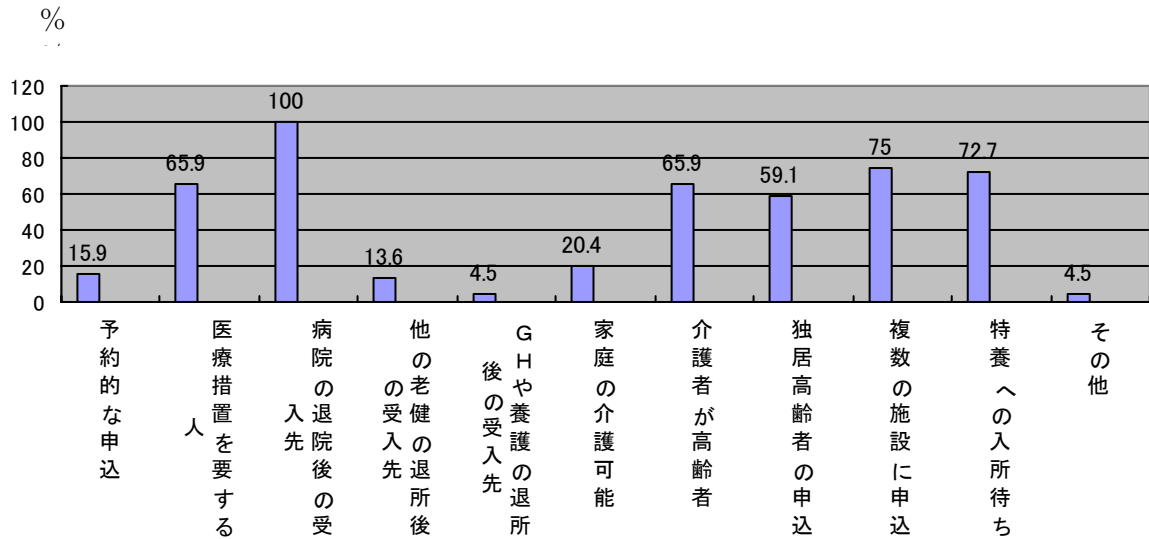
図 5 申込時の所在別の入所希望者の割合(平成 19 年 7 月 1 日現在)



イ 入所申込の状況からうかがえる傾向

入所希望者の介護老人保健施設への申込の傾向は、「病院からの退院後の受け入れ先としての申込み」、「複数の入居施設に申し込んでいるもの」、「特別養護老人ホームへの入所待ちの方」、「胃ろう等医療措置を要する人」「介護者(同居家族)が高齢者」等が申込が多い理由となっている。

図 6 入所申込の状況からうかがえる傾向(複数回答)



(4) 介護老人保健施設からの退所後の退所先状況

「入所者の入所前の所在 → 入所 → 退所先の流れ」に係る本県と全国の比較は次のとおりである。

図 7 入退所の状況に係る岩手県と全国との比較

入所前の所在 (%)			退所者 本県 1,542 人	退所者 全国 19,966 人	退所先 (%)		
	本調査より	全国調査より				本調査より	全国調査より
病院から	58.4	43.5	}	}	病院へ	50.5	38.5
療養型医療施設から	3.6				在宅へ	29.4	39.2
在宅から	29.5	45.7			特養へ	10.2	7.0
特養から	1.1	1.2			他の老健へ	3.8	9.4
他の老健から	5.3	6.4			グループホームへ	—	—
グループホームから	0.6				その他社会福祉施設		2.1
その他社会福祉施設		0.5			死亡		2.2
その他	1.5	2.6			その他	6.1	1.6

【注1】「全国調査」は、「第4回介護施設等の在り方に関する委員会(平成19年5月18日開催)」の全国の介護老人保健施設への入退所状況より作成

(5) 在宅復帰に向けた退所可能性の状況 (平成19年7月1日現在)

ア 在宅復帰の可能な入所者の状況

入所者の在宅復帰可能性、「5%未満」とする施設は、8.8%、「5%以上 10%未満」とする施設は、20.6%、「10%以上 15%未満」とするの38.2%であり、これらを合計すると67.6%であり、今後の在宅復帰に向けた取り組みの支援が期待される。なお、在宅復帰を困難にしている要因は、「主な介護者の就労」、「家族の意向」、「介護への身体的介助負担」「介護者がいない」等。

図 8 入所者の中で在宅復帰可能な割合 n=34

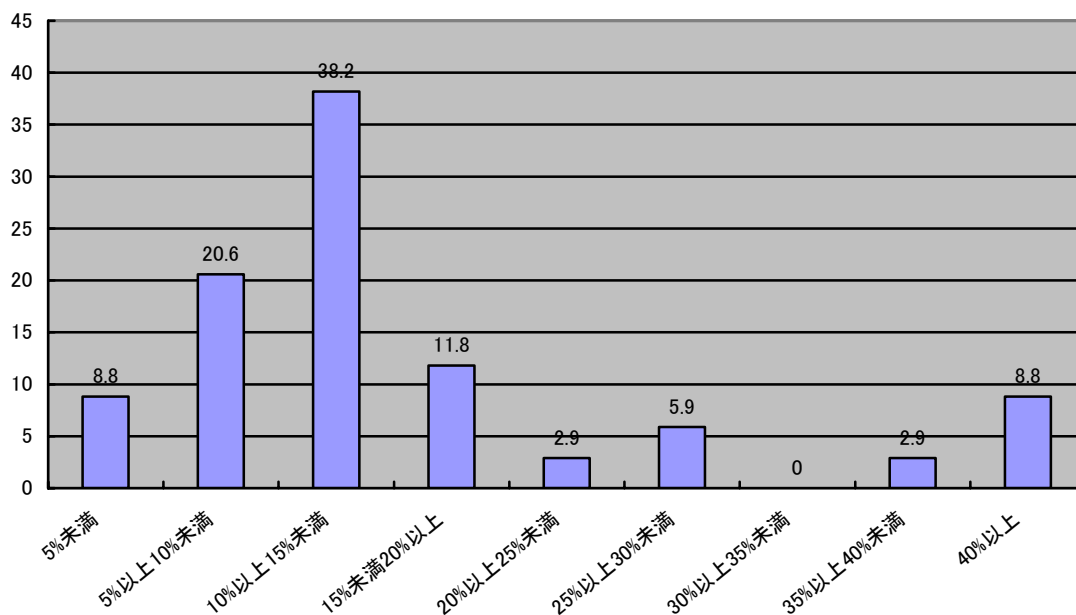


図 9 在宅復帰が困難な人の要因の状況 (複数回答) n=44

